

13. 夜間頻尿に対する酸棗仁湯の使用経験

関西医科大学 腎泌尿器外科
大口 尚基

【諸言】近年、夜間頻尿と睡眠障害の関係が問題となっている。夜間頻尿と不眠の頻度は相関し、特に高齢者では加齢とともに夜間頻尿の頻度は増加し、不眠をきたしQOLの低下につながる。また高齢者では睡眠が浅く覚醒しやすく夜間頻尿につながるといわれている。酸棗仁湯は不眠症に用いる代表的な方剤で、鎮静作用にも働くといわれています。

【目的】夜間頻尿に対して酸棗仁湯を使用しその効果を検討したので報告する。

【対象と方法】夜間頻尿を訴える患者に抗コリン剤を使用、男性症例に対しては α_1 ブロッカーを併用したうえで、改善しない13症例(男性7例、女性6例)に対して酸棗仁湯を眠前投与し、投与前後に夜間頻尿QOL質問票(N-QOL)を用いて評価した。

【結果】N-QOLスコアの悩み/心配の下位尺度スコアにおいて改善がみられ、特に女性において顕著であった。

【結論】夜間頻尿は男性が大半を占めるが、女性例も少なくない。今回少数例の検討であるが、酸棗仁湯が女性の夜間頻尿に有効であるかもしれないことが示唆された。今後症例を積み重ねて検討したい。